

メディア掲載情報

| | |
|------|----------------------|
| 媒体名 | 建材Navi |
| 掲載号 | 2012年9月号 |
| 掲載日 | |
| 掲載内容 | 坂田社長インタビュー記事+広告 ページ1 |

住まいの階段総合メーカー——カツデンアーキテック

「シースルー階段」でリビングに「語らいの場」を創造 デザイン性と高強度を両立させる洗練された技術力

カツデンアーキテック（坂田清茂社長、本社：東京都台東区東上野2-14-1マルコーセンタービル8F）は、シースルー直階段「ObjecA（オブジェA）」シリーズの開発以来、日本の住まい方の原点ともいえる「語らいの場」を軸にしたライフスタイルを提案しつづけている。

スチール製直階段「オブジェA」の各シリーズをはじめ、宙に浮いたイメージの「オブジェAダンデル」、蹴込み付きの「ウェーブス」、さらさら感を消したスチール製フレキシブル階段「フリス」、さらに、らせん階段「ウェーブスらせん」「モデリA」「KDスパイラル」、ロフト階段「オブジェAロフティー」をつぎつぎと新開発し、リビング階段のトップランナーとしてのブランド力を高めている。

そのリビング階段への思いとは、戦後の欧米化にともなう「個室」の設定を基本にした住まい方で奪われたコミュニケーションの場を「リビング階段」を通じて再生し、新しい「家族の絆」を生み出そうというものだ。

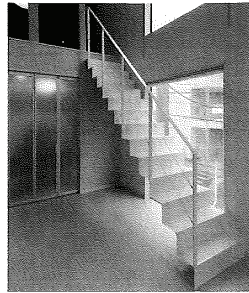
事実、リビング階段の採用は、若い世代の住宅取得者層を中心に高まっているようで、大手ハウスメーカーでは7~8割が採用しているともいわれる。リビング階段といっても、素材的には木製、スチール製、アルミ製がある。

カツデンアーキテックが提案するリビング階段は、ノックダウン方式によるスチール製の「シースルー階段」。従来の現場対応のリビング階段との大きな違いは、その洗練されたデザインにある。コンセプトの基本は、リビングにあって存在を主張しない、シンプルで室内空間の広がりを中心に据えたフォルム。さらさらの究極のシースルー階段の開発に成功している。

そうした「シースルー階段」の開発は、強度・品質とデザイン性を両立させる高度な技術力の裏付けがあって初めて可能になる。施主向けに作成した「階段コミュニケーションブック」に、ボルト・ナットの意匠にまでこだわったスタッフの真摯な姿勢と情熱の一端が読みとれる。

たとえば、階段の素材として選んだスチールに温もりを与えた「2Rフラットバー」階段手すり

の開発。デザイン性を妨げる「溶接痕」を消し去る溶接技術。デザインを損なうことなく確実にパーツをつなぎ、頭部が星模様の「トルクス化粧ボルト・ナットシステム」の完成。



また、階段メーカーに先駆けた工期短縮・施工を容易にした「ノックダウン工法」。20年の使用を想定した徹底した性能試験と、設計段階・製造段階、納品直前まで注がれる品質チェックなどのQC体制。高精度・高品質を支える最先端の生産設備の導入。10分の1mmの凹凸を見分ける熟練した「研磨作業」。すべてのパーツで50μ以上を確保する「粉体焼付け塗装」技術・・・等。まさに「たかが階段、されど階段」（坂田社長）である。

昨年ピーク時に月220台、月平均140台と前年比20%アップと好調

——リビング階段の動きと今後の見通しをお聞かせください。



坂田 リビング階段に取り組み10年になりますが、リビング階段の採用率は一戸建住宅の半分近くまで達してきました。大手ハウスメーカーでは7割~8割と聞いています。そうしたリビング階段の中

で、われわれのリビング階段の3つの特長である、シースルー、ノックダウン方式、そして美しい意匠を施主にわかりやすく説明した営業ツールを作成して拡販に取り組んでいます。

かつての日本の住宅にあった夏の縁側、冬の囲炉裏といった語らいの場を、シースルーリビング階段の設置によって取り戻し、そこに家族の新しい絆を生まれることを提案しています。こうしたシースルー階段を採用したライフスタイルは、20歳代後半から30歳代の若い世代を中心に受け入れられていますから、まだまだ広がる余地は充分に



メディア掲載情報

| | |
|------|----------------------|
| 媒体名 | 建材Navi |
| 掲載号 | 2012年9月号 |
| 掲載日 | |
| 掲載内容 | 坂田社長インタビュー記事+広告 ページ2 |

あると感じています。

昨年度もピーク時には月220台でした。年間で前年度比約20%アップ、月平均140台の出荷実績を確保しました。

景観配慮型サイクルスタンド「D-NA」プロジェクト本格化の兆し、新たに「ロック機能付き駐輪機」事業に進出

—新規事業分野の「D-NA（ディーナ）」プロジェクトに大きな可能性を感じますが、最近の動きをお教えください。

坂田 景観配慮型サイクルスタンド「D-NA（ディーナ）」プロジェクトでは、水面下で進めていた「ロック機能付き駐輪機」事業が本格化してきました。「ロック機能付き駐輪機」は、都市部の自治体が進める街なみづくりの一環として採用が進められているもので、当社も東京都から経営革新計画事業の「景観に配慮した意匠性の高いロック機能付き駐輪場」で承認を得ただけです。

すでに、東京・六本木地区の52台分、大阪・堺市の44台分を販売済みです。9月末には東京・豊洲地区に250台分ほど新たに設置されます。



この事業では、景観配慮型のサイクルスタンドとメカニカルなロック機構を含めて自社開発したものです。「D-NA（ディーナ）」のブランド名で、屋根材にスチールと防音材をしたシャープなデザインの「サイクルポート」をはじめ、ステンレス製の「CLIP床付タイプ/壁付タイプ」「Cタイプ」「Sタイプ」「PMタイプ」「PRタイプ」などを発売してきました。

この「D-NA（ディーナ）」のデザイン力を生かしていけば、今後とも行政を主体にしたニーズに十分に答えられると考えています。

「D-NA（ディーナ）」プロジェクトとしては、今年度販売高6000万円を見込んでいますが、来年度は一気に3億円に引き上げる計画です。今後、新3Kと呼んでいるのですが、「環境・健康・景観」に焦点をあてることで、新たな事業領域にも踏み込んでいこうと考えています。

KATZDEN ARCHITEC

ローコストなロックダウン階段

WAVES

WAVES
スチール階段 PAT.P

大好評! 図面を無料でダウンロード <http://www.kdat.jp>

カツデンアーキテック株式会社

| | | |
|--------|-------------------|-------------------|
| 東京本社 | TEL: 03-5812-2295 | FAX: 03-5812-2297 |
| 大阪営業所 | TEL: 06-6345-2415 | FAX: 06-6345-2416 |
| 名古屋営業所 | TEL: 052-202-1266 | FAX: 052-202-1277 |
| 北関東営業所 | TEL: 0495-76-3675 | FAX: 0495-76-3896 |
| 仙台営業所 | TEL: 022-390-0121 | FAX: 022-390-0124 |



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。